

★親子で星空さんぽ★

第1夜「よいの明星と木星を観察しよう」

「★親子で星空さんぽ★」第1夜のテーマは今ごろの夕方に見える1番星と2番星です。

西の空にひときわかがやく星があります。これは金星で夕方に見られることを「よいの明星」とよびます。また明け方に見られることを「明けの明星」といいます。さて太陽のまわりをまわる地球のなかまの星をわく星とよびます。わく星は太陽の光を反射(はね返して)光っています。金星は、地球から見ると星の中で一番光っています。望遠鏡で観察すると月のような形をしていることがわかります。また地球の内側をまわっています。つまり地球より太陽に近い星ですが、とても暑い星で、地球にくらす生命は生きていけないような環境です。4年くらい前に日本(JAXA)のたんさ機「あかつき」が金星に向かいましたが、残念ながら失敗してしまいました。

2番星となっているのが木星です。木星は地球の外側をまわっているわく星ですが、一番大きなわく星です、地球の11倍の大きさがあります。このように木星はとても大きな星ですが、地球とちがってガスでできた星です。実は太陽も同じガスの星ですが、そのガスをエネルギーにしてもえています。木星はそのガスが2～3倍集まっていたら、太陽と同じようにもえていたと考えられています。そうすると太陽と木星の間にある地球は誕生しなかったかもしれません。木星は大きな望遠鏡で見るとしまもようがあることがわかります。また木星の4つの月がまわりに見ることができます。

■星座早見盤(せいざはやみばん)を使ってみよう

星座早見盤は見たい月日と時間を合わせると、その時に見られる星空がわかる便利なものです。くわしい使い方を説明しますが、きほんは方角がわからないとうまく使えないというところですよ。知らない場所で方角をしるには何があるでしょうか？ みなさんで考えてみましょう。

これから星座早見盤は毎回使います。忘れずに持って来てください。

■次回6月19日(金)は「春の星座と三日月を見よう」です

季節は6月でもうすぐ夏ですが、星空はまだ春の星座が見えています。天気がよくない場合は、「組立式天体望遠鏡」をつくりたいと思います。